



TCU-COM

p01 後援会副会長挨拶

p02 平成26年度「大学と保護者との連絡会」取材レポート

p05 平成26年度 就職動向と支援

p09 キャンパスSpot㉑

p11 クラブ活動紹介㉒

p17 Campus Topics

p19 平成26年度「大学と保護者との連絡会」実施結果

後援会副会長挨拶

出会いへの積極参加を

「あのときが分れ道だった」という出会いが、振り返えると誰しも思い当たることが多くある。それも自分が意識的にした場合と、不思議な縁に導かれた場合とがあることを、振り返ってみると誰しも経験していると思います。

大学入学や就職は、自らの選択によるものですが、それにまつわる先生や友人、先輩や後輩との出会いは縁に導かれたもので、大きな影響を受けています。

私の子供は、東京都市大学へ入学した直後、母親(私の妻)が闘病生活から永い眠りについたこともあり、心身の心配をしていましたが、大学の校門付近で勧誘を受けてから運動系の部活動を始めると言い出し、それからは多くの先輩後輩を含む友人が出来て、自分のことしかなかった性格も部活連盟関係の活動までするようになり、今は毎日笑顔で通っています。

子供の学校のことは無関心であった私ですが、子供との共有点について考えていたところに、後援会評議員へのお誘いの電話を頂いたことから、大学を訪問するようになりました。後に、もう少し大学を知りたいとの気持ちが湧いてきて理事となり、先生や職員の方々からお話を伺える機会を頂き、また、学内を歩けるようになったことで、子供との会話が増えるとともに学校生活に対しても安心感が生まれました。

毎年大学教職員による保護者会を各地で開催し、学校の状況を説明して頂いていますが、更に学園祭等の催しを機会として積極的に大学へ足を運んで、子供達のことを良く見ていこうと考えるようになった次第です。

東京都市大学での良き出会いには、良い環境が作られているからで、今後も大学の教職員の方々と協力して支援に努めたく存じますので、後援会会員の皆様には積極的に行事へご参加頂き、良き出会いをして頂きたいと思っております。



東京都市大学
後援会副会長

澁谷 彰一



平成26年度

「大学と保護者との連絡会」

取材レポート

取材担当: 東京都市大学新聞会



「大学と保護者との連絡会」が後援会と大学の共催により全国各地で実施されました。平成26年度は、10月4日(土)に行われた世田谷、横浜、等々力の3キャンパスにおける連絡会をもって全てのスケジュールを無事に終了。3キャンパスでの連絡会に参加された保護者の皆様の感想などをまじえ、当日の様子をご紹介します。

毎秋、教職員や卒業生(校友会支部)の方々が全国各地に出向いて、大学のビジョンや具体的な取り組み、学生生活の様子、最新の就職状況などを説明するとともに、保護者の方々からさまざまな疑問・質問に回答する「大学と保護者との連絡会」。保護者からは毎回、「キャンパスの雰囲気を感じてきた」「教職員と直に話ができて、安心した」などのご好評の声をいただいております。

平成26年度は、9月6日の4会場を皮切りに、地方17会場での開催後、10月4日、世田谷、横浜、等々力3キャンパスでの連絡会で幕を閉じました。東京・横浜地区は、あいにくの曇天で蒸し暑い一日となりましたが、それぞれのキャンパスにはたくさんの皆様がご参集くださいました。なお今回は、北澤宏一学長が9月24日に急逝されるという悲しい出来事があり、各キャンパスで厳かに哀悼の意が表されました。

世田谷
キャンパス

**工学部、知識工学部の多様な学びや
最大の関心事である「就職」の現況を紹介**

世田谷キャンパスでは、知識工学部の連絡会が午前9時半から、工学部では午後0時半から受付を開始。その後、学科の主任教授、教務担当教員、就職担当教員らによる各学科説明会が行われ、それぞれの学科の持ち味や、保護者の関心が高い就職・進学動向、グローバルな成績評価指標として知られるGPAなどについて説明がありました。続いて、



説明に熱心に耳を傾ける保護者



多くの保護者が学食を利用



受付開始前から多くの保護者が参集

学年別説明と懇談が行われ、希望者には個人面談も実施されました。たとえば、知識工学部経営システム工学科では、横山真一郎主任教授が、「本学科では、情報活用技術や数学

モデルを扱っており、理工系の学修が主体。今は半期での講義を行っていますが、社会ニーズを考慮しながらクォーター制の導入も検討中です」と、学科の特色やカリキュラム面での今後の展望を紹介。同学科の就職担当者は、内定を早く獲得できる学生の特徴として、「明るく元気で、話しづりが流ちょう、加えて自身の研究内容をきちんと論理的に説明できる」など、コミュニケーション力、プレゼンテーション力が大切であると指摘しました。また、工学部建築学科では、学科の専門領域と各研究室の特徴を説明した後、「困ったことがあれば気軽に担任に相談を。誰にも知られたくない悩みにも、学生相談室が対応します」と手厚い支援体制を強調。

就職担当の西村功教授との質疑応答では、大学院の入学状況や他大学の大学院への進学、就職支援体制などさまざまな質問が寄せられ、他の学科でも同様にきめ細やかな説明が行われました。

横浜
キャンパス

**環境性が高く、情報設備も充実した
キャンパスで学びや進路を詳細に説明**

2013年度から環境情報学部への改編により、環境学部とメディア情報学部の2学部体制となった横浜キャンパス。現在同キャンパスには、環境情報学部3・4年生と、環境学部・メディア情報学部の1・2年生が在籍しています。このため、午前中に環境学部とメディア情報学部の説明会、午後からは環境情報学部の説明会を行いました。

午前10時から始まったメディア情報学部の学部・学科説



エコキャンパスを散策する保護者



メディア情報学部の説明会



学年別懇談会(横浜)

明会では、中村雅子メディア情報学部長が、「本学部では、社会のさまざまな事象を調査、研究しながら、問題解決力を身につけます」と説明。続いて、メディア情報学部が主催する東京都市大学市民講座など、学部ならではの取り組みが紹介されました。さらに、教務委員長の横井利彰教授が、研究室配属の際に考慮しておくべきことなどについて解説し、「普段から教員に積極的に関わりながら、学生たちが主体的に将来の目標を定めてほしい」と話しました。また、日経HRによる大学総合ランキングで全国第19位、就職に熱心に取り組んでいる大学第6位に選出されるなど、その高い就職力が評価されていること、グループ企業などでのインターンシップに積極的に取り組んでいることなども紹介されました。

3年次以上の保護者が集まる環境情報学部説明会にも、開始30分以上前から多くの保護者が集まり、会場はまたたく間にいっぱい。吉崎真司学部長は、就職に強い学生には、情報収集力やアピール力があることなどの特徴を紹介。最後にキャリア委員の田中章教授が登壇し、「研究活動に一所懸命な学生は就職にも困らない」と述べ、保護者の皆さんは熱心に聞き入っていました。

等々力
キャンパス

都市生活学部、人間科学部ともに きめ細かい指導で就職をサポート

等々力キャンパスでは、午後1時から都市生活学部と人間科学部の説明会を開始。都市生活学部では、坊垣和明学部長が、大学院都市生活学専攻を開設して、学修・研究体制のさらなる充実を図り、併せて学生たちの選択の幅が広がったことや、少人数クラス制で担任を配置し、学生生活や学修、就職・進学支援の面でも細やかに対応していることなどを説明しました。また、2013年度(2014年3月卒業)は、都市生活学部で98.2%、人間科学部が98.9%ときわめて高い就職内定率を示したこと、都市生活学部の主な就職先が不動産業、建築、住宅関連企業であったことなどが紹



都市生活学部の学部説明会



教員紹介の様子

介され、早期からのキャリアサポート、国内だけでなく海外でも実施しているインターンシップ、3年次からの本格的な就職対策などが功を奏しているとの話がありました。アジアやヨーロッパなどの海外研修の実施や、英語研修などへの参加を促すなど国際的にも活躍できる人材の育成を目指している都市生活学部。学部説明会の後には、希望者に個人面談が行われ、保護者から寄せられるさまざまな質問に答えていました。その中で、参加した保護者相互の連携が強まる取り組みが欲しいなどの要望も出されました。

なお、今年度、全国の連絡会へのご参加は全1,663世帯。来年も多くの方々のご参加をお願いいたします。

水戸会場

信頼と説明責任と

世田谷キャンパス 学生支援センター 係長 島田 則明

本年も大学と保護者との連絡会地方会場へと行ってまいりました。年々、参加される保護者の数が増えていることに本学



への関心の高さを窺い知ることができます。

私が今回担当させていただいた会場は、茨城県水戸市にあります三の丸ホテルで、9月7日(日)13時30分より限られた時間ではありましたが、開催させていただきました。休日に関わらず41世帯・62名と多くの方に参加いただきました。

今回、我々担当者は、パワーポイントと冊子を併用しながら、大学の近況報告、学修の流れ、学生生活、就職・進学について説明をさせていただきました。また、後援会評議員の方より後援会の概要・活動内容を説明していただき、校友会茨城支部の方には校友会の活動等について説明いただきました。特に事前に寄せられた質問でも多かった就職について、担当者より手厚く説明させていただいた結果、全体に対する質問は特段ありませんでした。会終了後に個別相談を希望された方も少なく、参加いただいた保護者の皆様には往々に満足して帰途についていただけたと自負しております。

今や教育機関である大学も、ステークホルダーである保護者の方に安心して学生を預けていただくために、大学の現状や支援内容を説明しなければならない責任がございします。今後も本連絡会を通して、大学の近況などを説明させていただき、保護者の皆様や卒業生の方々から引き続き本学へのご支援、ご理解を賜る一助になればと考えております。

世田谷キャンパス



機械システム工学科 2年
門田 激君のお父さん

進級について詳しい話を聞くことができた。これから息子のやるべきことが具体的に見えてきました。



原子力安全工学科 1年
腰越 広輝君のご両親

担任の先生と直接話ができたのが何よりの成果。子どもが不安がっていた進路の悩みを解決することができました。



経営システム工学科 1年
谷口 彰宏君のお父さん

落ち着いた静かなキャンパスに感心。学生時代の成績が、就職にも大きく関係することを教えてもらいました。



経営システム工学科 3年
片山 諒也君のご両親

工事中だった1号館がついに完成して、新しくなった建物を見られたのも良かったです。学食のご飯もおいしくいただきました。



都市生活学科 3年
川田 健太君のご両親

連絡会には毎年来ていますが、いつも校舎の美しさに魅了されます。個人面談でいろいろな不安が払拭されました。



エネルギー化学科 4年
吉野 謙太郎君のお母さん

新1号館に初めて入りました。明るく広々とした空間ですが、4年生の息子はもうすぐ卒業なので残念ですね。



建築学科 2年
徳永 悠夏さんのお父さん

研究室棟が開放的でのびのび学修できる環境だと確認しました。また、2年生後期が大切だと改めて認識しました。



経営システム工学科 1年
柳川 毅君のご両親

キャンパスが閑静な住宅地の中にあることを初めて知りました。周囲の環境にじっくり馴染んでいるところが素敵ですね。



自然科学科 1年
中野 大樹君のご両親

落ち着いたキャンパスの雰囲気を身体全体で感じることができました。思った以上に、明るく開放的な雰囲気に満足。



都市生活学科 3年
周佐 桂輔君のご両親

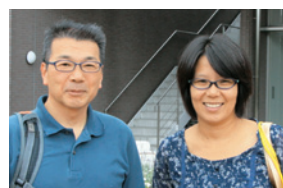
アットホームな雰囲気、教職員との距離が近いのが好ましいですね。就職に関する具体的な話ことができました。

横浜キャンパス



環境マネジメント学科 1年
氏家 昭汰君のご両親

初めて横浜キャンパスを来訪。緑が多く、お弁当を広げたくりますね。説明も大変分かりやすかったです。



環境創生学科 1年
川村 昂史君のご両親

知り合いに誘われて参加しました。先生方から直接授業や学内の様子を聞くことができ、実りの多い1日でした。



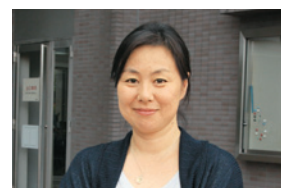
環境情報学科 3年
水野 寿洋君のお父さん

このキャンパスには学園祭などで度々訪れていて、連絡会も2回目の参加。一番の気がかりは、やはり就活です。



情報システム学科 1年
加藤木 健吾君のお父さん

カリキュラムや進路のことなど、息子が家で話してくれないようなことを、今回たくさん知ることができました。



社会メディア学科 1年
絹田 真也君のお母さん

授業や単位のこと、早期からの就職サポートのことなど伺えて、安心しました。担任の先生もとても親切でした。



情報メディア学科 4年
高重 文さんのご両親

子どもはすでに内定もいただいておりますが、卒業前の思い出に参加。研究室を見学することができ、感激しました。

参加された
保護者の方々の感想

等々力キャンパス



児童学科 1年
片桐 有恒君のお母さん

年間行事など、学校生活の全体像が把握できました。キャンパスはこじんまりとしていて、とても美しいですね。



児童学科 4年
里村 千都世さんのお母さん

担任の先生の面例会がよいですね。学科の説明会では、保育園や幼稚園の就職内定の時期を知ることができました。

平成26年度 就職動向と支援

就職環境の変化と対策

景気の上昇傾向を受けて、平成27年3月卒業予定学生（現4年生）の就職環境は改善しています。数字で見えますと、新卒求人倍率（リクルートワークス研究所調べ）では1.61倍（昨年1.28倍）となり、昨年と比較しても一人当たりの求人数は増加していて、本学の内定率の調査でも、昨年の同時期に比べて高い結果を残しています。

ただ、全体的な数値は改善していますが、ここ数年の傾向として本学の学生に限らず複数の内定を得る学生と、なかなか内定を獲得することができない学生との差が大きくなっていると感じています。

学生が内定を獲得するために、「（基礎力＋専門力）×就職活動力」を高めることが必要であると本学のキャリア関連の担当者間では共有しています。これは何も低学年時から面接や応募書類作成、筆記試験対策などの「就職活動力」を高める対策を行うということではありません。低学年時にはキャリアの意識を高める内容の授業やガイダンスを行い、「基礎力」を高める授業や課外活動への取り組みの重要性やインターンシップへの積極的な参加の効果を伝えます。また学年が上がってからは全員が研究室に配属される本学の強みを生かし「専門力」を高めることを意識するように伝えています。就職活動を迎える時期には、就職指導の専門家が設計した「就職活動力」を高めるプログラムを多数開催し、そのプログラムに積極的に参加することで良い結果につながっています。

また新しい傾向として、採用選考時に学業成績書の提出を求め、採用面接時の質問項目として、「大学で履修した科目について詳しく聞くと」と表明している、大手の企業が増加してきています。大学での正課授業で身に付けたことをしっかり確認する傾向は更に高まるとも言われています。

平成28年3月卒業予定者（現3年生）から就職活動時期も大きく変化いたします。

具体的に公表されている時期ですが、以前は求人情報の公開は大学3年生の12月であったのが、3年生の3月から、採用面接は大学4年生の4月であったのが、8月からにそれぞれ遅い時期に変わります。

これにより企業の活動も大きく変化いたしますので、就職活動を行う学生は企業の動向についての情報をしっかり知っておくことが大切になります。本学としましては、できるだけ正確な情報を収集して学生に伝えられるように一層努めてまいります。

上記のことなどから、保護者の皆様からも、勉学を含めた学生生活の充実とキャリア関連のイベントには積極的に参加するようにお伝えいただけますようお願いいたします。

本学の取り組み

従来の就職支援業務の枠を超えて、キャリア全般に関わる幅広く

充実したサービスを提供できる「キャリア支援センター」を各キャンパスに設置しております。

各キャンパスのキャリア支援センターには専門の相談員が常駐し、就職の相談のみならず、職業選択や進学など、将来の進路についての確かなアドバイスを受けることが出来ます。常駐しているスタッフの多くがキャリアカウンセラーの有資格者であり、キャリアに関わることはどんなことでも安心してご相談頂けます。卒業生や先輩学生による密度の濃い情報をはじめ、就職活動支援サービス会社の各種資料なども豊富に提供しております。

また、各学科では就職担当教員がキャリア支援センターと連携して強力に学生をバックアップし、学科の強みや特徴を活かして、一人ひとりのニーズにあった支援を展開しています。就職支援行事は学内で実施するものだけで約100回にのぼり、徹底してキャリアについて考える機会をつくっております。更に本学の前身である武蔵工業大学時代からの強みである「社会で活躍する卒業生」のご協力を得て、学部・学科ごとに企業・業界セミナーや相談会を実施するなど、充実した支援体制を整えております。

もちろん就職に関する個別相談も充実しており、カウンセラーによる面接指導や履歴書添削だけでなく、自己分析等の指導も積極的に行い、基礎から応用まで、幅広い指導をしています。

また、本学の学生を指定して寄せられる独自の求人だけを検索出来るシステムなどにより、内定獲得を目指す学生を強力に支援しております。

今年度の状況

今年度の就職状況は、文部科学省発表の平成26年10月時点での内定率は「68.4%」となりました。本学では10月時点で約8割の決定率となっております。人間科学部の保育業界希望者は、これらが選考のピークを迎えることを考えましても、全国平均に比べて十分健闘をしてはおりますが、本学としましては、まだ活動を継続している学生に対しての支援は最優先と認識しております。これからも学内での企業セミナーや継続して求人をしている企業の情報を収集し一層の就職活動の支援を実施してまいります。これからの時期、就職活動学生の「モチベーションの維持」「活動し続ける姿勢」が重要なポイントになります。キャリア支援センターには、まだ多数の求人情報もありますので、ぜひ大学のキャリア支援センターを活用されるよう、学生ご本人にご指導頂ければ幸いです。

最後に

学生の進路に関する意識が多様化し、変化の大きな就職環境に対応すべく、今後ますますキャリア支援業務に注力してまいりますので、引き続き保護者の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成26年度 主な就職内定先企業等 (平成26年12月1日現在)

※数値は就職内定者数

工学部・知識工学部・大学院 工学研究科		環境情報学部・大学院 環境情報学専攻		都市生活学部・人間科学部・大学院 都市生活学専攻	
■輸送用機器		■情報通信サービス		■建設・不動産・住宅	
日産自動車……………	6	日立システムズ……………	3	NEC……………	5
スズキ……………	6	NTTデータ……………	2	アズビル……………	3
ヤマハ発動機……………	5	日立ソリューションズ……………	2	図書印刷……………	2
トヨタ自動車……………	4	SCSK……………	2	日立製作所……………	1
いすゞ自動車……………	4	三菱総研DCS……………	2	富士通……………	1
日立オートモティブシステムズ……………	3	日本総合研究所……………	1	三菱電機……………	1
ホンダ……………	2	富士通エフサス……………	1	東芝テック……………	1
三菱自動車工業……………	1	■運輸		コニカミノルタ……………	1
富士重工業……………	1	JR東日本……………	9	栗田工業……………	1
マツダ……………	1	JR東海……………	2	キリン……………	1
■電気機器・精密機械		東京メトロ……………	1	■情報通信サービス	
三菱電機……………	7	全日空……………	1	富士ソフト……………	3
コニカミノルタ……………	4	■建設		大塚商会……………	3
日立製作所……………	3	大成建設……………	10	NECソリューションイノベータ……………	3
キャノン……………	3	竹中工務店……………	5	NSD……………	2
日本製紙……………	3	長谷工コーポレーション……………	5	キャノンITソリューションズ……………	2
富士電機……………	3	東急建設……………	5	リコージャパン……………	2
富士通……………	2	清水建設……………	4	JR東日本情報システム……………	2
東芝……………	2	大林組……………	4	KDDI……………	1
凸版印刷……………	2	大和ハウス工業……………	3	日本コムシス……………	1
バイオニア……………	2	鹿島建設……………	3	伊藤忠テクノソリューションズ……………	1
オリンパス……………	2	積水ハウス……………	2	サイバーエージェント……………	1
TOTO……………	2	■その他		みずほ情報総研……………	1
NEC……………	1	東京電力……………	8	■運輸	
パナソニック……………	1	電源開発……………	1	JR東日本……………	1
シャープ……………	1	東京都庁……………	3	静岡鉄道……………	1
リコー……………	1	国土交通省……………	3	神奈川中央交通……………	2
京セラ……………	1	横浜市役所……………	1	東急バス……………	1
				■建設・不動産・住宅	
				国際航業……………	3
				オリエンタルコンサルタンツ……………	3
				石勝エクステリア……………	2
				応用地質……………	1
				熊谷組……………	1
				パシフィックコンサルタンツ……………	1
				東急リパブル……………	5
				タカラスタンダード……………	3
				大和ハウス工業……………	2
				立川ブラインド工業……………	1
				■小売・流通	
				高島屋……………	1
				千趣会……………	1
				セブンイレブン・ジャパン……………	1
				ジョンソン・エンド・ジョンソン……………	1
				■金融	
				川崎信用金庫……………	2
				横浜信用金庫……………	1
				オリエントコーポレーション……………	1
				大和リース……………	1
				野村証券……………	1
				■公務	
				警視庁……………	1
				神奈川県警……………	1
				静岡県警……………	1
				■その他	
				セコム……………	1
				近畿日本ツーリスト……………	1
				■建設・不動産・住宅	
				大和ハウス工業……………	4
				住友林業ホームテック……………	2
				旭化成リフォーム……………	2
				積水ハウス……………	1
				日本空港ビルデング……………	1
				三井ホーム……………	1
				三井不動産レジデンシャル……………	1
				パナソニックホームズエンジニアリング……………	1
				三井地所プロパティマネジメント……………	1
				タイムズ24……………	1
				アトレ……………	1
				三越伊勢丹プロパティ・デザイン……………	1
				国際航業……………	1
				能美防災……………	1
				日比谷総合設備……………	1
				東京エネシス……………	1
				■住宅設備機器	
				YKK AP……………	2
				コイズミ照明……………	2
				立川ブラインド工業……………	1
				■運輸・旅行・広告	
				JR東日本……………	1
				東京急行電鉄……………	1
				神奈川中央交通……………	1
				東急バス……………	1
				エイチ・アイ・エス……………	1
				農協観光……………	1
				ティー・ワイ・オー……………	1
				D2C……………	1
				ぐるなび……………	1
				OPA……………	1
				■小売・流通	
				東急ハンズ……………	3
				東急百貨店……………	1
				丸井グループ……………	1
				ワコール……………	1
				日比谷花壇……………	1
				大塚家具……………	1
				三菱商事パッケージング……………	1
				東京トヨタ自動車……………	1
				トヨタホーム東京……………	1
				■公務(事務・保育)	
				世田谷区役所……………	4
				渋谷区役所……………	1
				杉並区役所……………	1
				横浜市役所……………	2
				川崎市役所……………	2
				茅ヶ崎市役所……………	1
				鎌倉市役所……………	1
				横須賀市役所……………	1
				船橋市役所……………	1
				那珂市役所……………	1
				■幼稚園・保育園等	
				幼稚園・保育園・施設等……………	53
				■その他	
				三菱東京UFJ銀行……………	1
				日本郵便……………	1
				インフォマート……………	1
				プライダルプロデュース……………	1

採用活動・進学スケジュール(例)

※平成28年3月卒業予定者からスケジュールが変更になります。

学部3年生 / 修士1年												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就活ポイント	●自己分析 ●インターンシップエントリー参加 ●業界研究・職種研究 ●企業研究											
企業			インターンシップ ナビプレオープン	インターンシップ 説明会セミナー	インターンシップ				インターンシップ			就職ナビ グランドオープン
公務員 (受験する職種等によりスケジュールが異なりますので、参考としてご覧ください)					インターンシップ						公告 国家公務員	公告 地方公務員
進学	大学院に進学するか、就職するか熟慮(年内を目処に) 進学的意思を決定次第、志望校の選定および受験科目の確認。受験勉強開始										指導教授等と相談の上 進学先の決定	

学部4年生 / 修士2年												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就活ポイント	●自己分析 ●企業研究 選考開始 内定											
企業	●エントリー ●会社説明会 ●採用試験 10月以降も継続して採用を行っている企業があります。 内定を獲得するまで粘り強く取り組みましょう。											
公務員 (受験する職種等によりスケジュールが異なりますので、参考としてご覧ください)	受付期間 国家公務員		1次試験		2次試験		最終合格					
	受付期間 地方公務員		1次試験		2次試験		最終合格					
進学 (本学の場合)	大学院推薦入試 (A日程) 願書提出/試験			大学院一般入試 (B日程) 願書提出/試験				大学院一般入試 (C日程) 願書提出/試験				

本学のキャリア支援スケジュール

●キャリア支援とは、就職、進学など卒業後の進路決定の支援や、将来のために役立つ準備を行う機会や情報の提供などを行うことを考えています。

世田谷キャンパス (SC) キャリア支援	1 年 生	2 年 生	3 年 生											
				4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月			
	技術系の強みを生かせるよう普段から授業をしっかり頑張ろう！		技術系の素養を高めるため、専門科目の学修に注力（技術系就職の基礎）											
	4 月： ・キャリアガイダンス ・自己発見レポート ・自己発見レポートの フォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオガイダンス	4 月： ・キャリアガイダンス ・自己プログレスレポート ・自己プログレスレポートの フォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオガイダンス	就職支援プログラム	就活基礎力養成					公務員対策 いざ！本番に向けて、本エントリー攻略					
	5 月／6 月： インターンシップ対策講座	5 月／6 月： インターンシップ対策講座		・就活入門ガイダンス ・就職ガイダンス ・就職セミナー ・インターンシップガイダンス ・SPI模試・解説 ・公務員ガイダンス ・業界研究会 ・マナー講座					・公務員試験 対策講座 (集中講座) ・就職ガイダンス ・進路適性検査（キャリアアプローチ） ・就職セミナー ・履歴書・エントリーシート対策講座 ・SPI模試 ・面接・グループディスカッション対策講座 ・内定者懇談会 ・マナー講座					
8 月／9 月： インターンシップ等に 積極的に参加	8 月／9 月： インターンシップ等に 積極的に参加													
9 月： ・キャリアポートフォリオガイダンス	9 月： ・キャリアポートフォリオガイダンス													
	就職支援プログラムには全学年 参加可能です。		実践直結 プログラム											
キャリアアップ講座（全学年対象となります）：5 月～12 月 課外英会話講座（40 分／日・年間 100 回） 他														

横浜キャンパス (YC)	1 年 生	2 年 生	3 年 生										
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月			
	進路・勉強方法を考える		着実に就活力をつけていくための基礎力講座＜履歴書・ES対策＞										
	4月: ・キャリアガイダンス ・自己発見レポート ・自己発見レポートの フォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオガイダンス	4月: ・キャリアガイダンス ・自己プログレスレポート ・自己プログレスレポートの フォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオガイダンス	就職支援プログラム	就活基礎力養成				本エントリー攻略、実践対策講座					
	5月／6月: インターンシップ対策講座	5月／6月: インターンシップ対策講座		・就活入門ガイダンス ・インターンシップガイダンス ・SPI模試・解説 ・マナー講座				・進路適性検査（キャリアアプローチ） ・筆記試験対策（SPI3、CAB、GAB、一般常識） ・履歴書・エントリーシート対策講座 ・文章力強化講座・業界・会社の選び方 ・面接（個人・集団）対策講座 ・グループディスカッション対策講座 ・内定者懇談会					
8月／9月: インターンシップ等に 積極的に参加	8月／9月: インターンシップ等に 積極的に参加					公務員対策 ・公務員試験対策講座 （集中講座）		進路個人面談 ・3年生全員対象 1人1人の進路に合わせて進路 希望登録書による個別指導					
9月～: ・キャリアポートフォリオガイダンス ・キャリアデザイン基礎	9月～: ・キャリアポートフォリオガイダンス ・キャリアデザイン					SPI対策 ・民間試験対策講座 （集中講座）							
	就職支援プログラムには全学年 参加可能です。		実践直結 プログラム										
キャリアアップ講座（全学年対象となります）：5月～12月 課外英会話講座（40分/日・年間100回） 他													

等々力キャンパス (TC) キャリア支援	1 年 生	2 年 生	3 年 生											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月				
	授業を通じ、社会のトビラを開けてみよう！		社会人へのトビラ「社会人基礎力」を向上させよう！											
	4月: 自己発見レポート 4月／9月: キャリアポートフォリオガイダンス (フレッシュヤーズゼミと連動) 7月: インターンシップガイダンス 8月／9月: インターンシップ、 ボランティア等に、 積極的に参加	4月: 自己プログレスレポート 4月／9月／12月: キャリアポートフォリオガイダンス (キャリアデザイン1・2と連動) 7月: インターンシップガイダンス 8月／9月: インターンシップ、 ボランティア等に、 積極的に参加	就職支援プログラム 実践直結プログラム	就活基礎力養成				公務員対策	いざ!本番に向けて! 本エントリー攻略					
				・キャリアデザイン(3)(都市生活学部) ・就活入門ガイダンス ・就職講演会 ・インターンシップガイダンス ・SPI模試・解説／TOEIC				・特別講義 ・公務員試験対策講座 (集中講座)	・キャリアデザイン(4)(都市生活学部) ・就職ガイダンス ・進路適性検査(キャリアアプローチ) ・就職講演会 ・就職セミナー／TOEIC ・履歴書・エントリーシート対策講座 ・SPI集中対策					
										資格・TOEIC	進路個人面談			
										・各種資格対策講座 ・TOEIC対策講座				
	就職支援プログラムには全学年参加可能です。													



※対象は平成28年3月以降の卒業予定者となっております。

3 年 生					4 年 生											
12月	1月	2月	3月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					今までの学修を生かし、卒業研究に注力（研究内容をしっかりアピールできるように）								内定獲得まで諦めない支援			
最終総仕上げ					進路相談強化					個別指導の徹底						
・就職ガイダンス（Uターンガイダンス含む） ・履歴書・エントリーシート対策 ・筆記対策（SPI一般常識） ・面接・グループディスカッション講座					・求人紹介など内定直結型の支援を行います。					・大学宛求人票と進路希望登録書を有効活用し、志望・適正に応じた求人の紹介を徹底的に行います。						
公務員対策 ・公務員試験対策講座（集中講座） ・公務員試験模擬試験 ・面接カード記入ガイダンス																
進路個人面談 ・3年生全員対象 ・学校推薦対象者決定 ・大学院進学希望調査																
業界研究会				企業研究会	企業研究会											
・実際にお仕事をされている方をお招きして学内において各業界の説明会を行います。				・人事担当者、OB、OGをお招きして学内において説明会を行います。	・優良企業をお招きして学内において説明会を行います（月1回程度）。											

3 年 生				4 年 生											
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				徹底的な書く・話すチカラの強化…個人面談にて、履歴書を元に話す練習 <面接対策>								内定獲得まで諦めない支援			
最終総仕上げ ・履歴書・エントリーシート対策 ・面接・グループディスカッション講座 ・学校推薦ガイダンス 公務員対策 ・公務員試験対策講座 (集中講座) ・論述・面接対策 ・公務員模擬試験 模擬面接&グループディスカッション講座 ・採用コンサルタントによる 徹底講座				進路相談強化				個別指導の徹底							
				・進路希望登録書を元に面談 ・求人の紹介など内定直結型の支援を行います。				・大学宛求人票と進路希望登録書を有効活用し、志望・適正に応じた求人の紹介を徹底的に行います。							
業界研究会				企業研究会				企業研究会							
・実際にお仕事をされている方をお招きして学内において各業界の説明会を行います。				・人事担当者、OB、OGをお招きして学内において説明会を行います。				・学内合同企業説明会(月1回程度) ・個別企業説明会も開催							

3 年 生				4 年 生											
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				トビラの向こうへ！ 就職活動スタート！				内定獲得まで諦めない支援							
				保育業界採用スタート→											
いざ本番に向けて！本エントリー攻略		公務員対策		進路相談強化				個別指導の徹底							
・エントリーシート対策 ・面接対策各種集中指導 ・グループディスカッション対策 ・面接対策		・公務員試験 対策講座（集中講座）		・履歴書・就職セミナー・就職講演会（人間科学部） ・エントリーシート／グループディスカッション／ 面接対策 ・採用情報提供 ・個別面談				・個別面談 ・個別指導 ・キャリアカウンターで随時相談受付							
進路個人面談															
・進路に合わせて個別指導 ・進路希望登録書															
業界研究会				企業研究会											
・人事担当者、OB、OGをお招きして 学内において説明会を行います。				・学内企業説明会開催（随時） 世田谷キャンパス・横浜キャンパスと連携											

総合研究所の巻

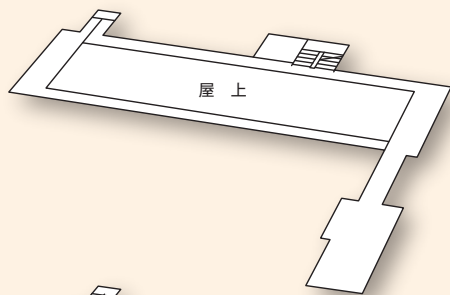
等々力キャンパス

取材:2014年12月

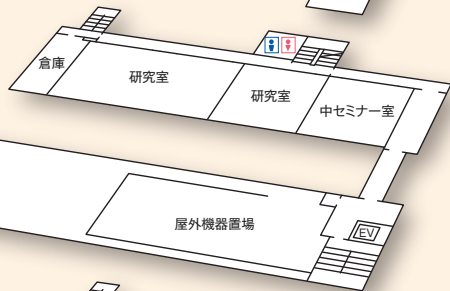
2004年4月に開所した総合研究所(以下、総研)は、現在、光電子融合デバイスに取り組む『シリコンナノ科学研究センター』と、高速道路や鉄道など都市インフラの再生技術を探求する『都市基盤施設の再生工学研究センター』の2つの研究センターを核に、低炭素型社会の構築を目指す先進エネルギーシステム研究室、地盤環境評価研究室などの重点推進研究室、音響や映像表現をユニークな手法で分析する応用表現研究室などで構成されています。施設の規模は、地下1階地上4階、延床面積約3700㎡。数多くの機器類を駆使しながら、日々、革新的な研究活動を、学内だけでなく、企業や他大学、海外研究機関とも協力しながら行っています。



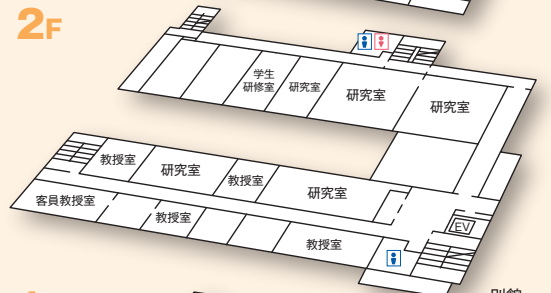
4F



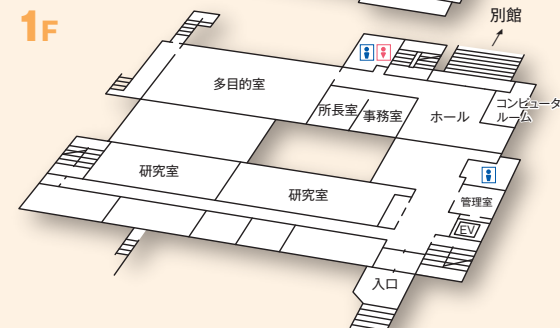
3F



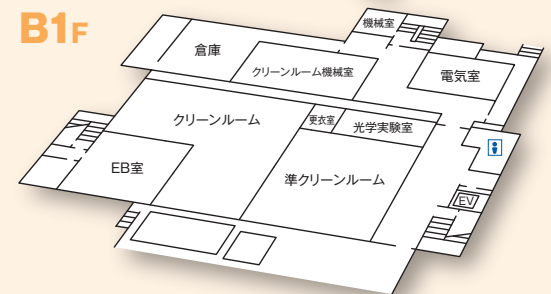
2F



1F



B1F



B1F

シリコンナノ科学研究センターでは、先端的な半導体の製造・評価装置の数々を用いながら、超高速で省エネ効果も高い「光電子融合デバイス」の開発と実用化に向けたチャレンジを続けています。地下1階では、塵や埃をシャットアウトするクリーンルームや、材料を感光から守るEB室などの特殊な設備を配置し、繊細な半導体製造・評価を行っています。



光学実験室

光学実験室に置かれた「顕微フォトルミネッセンス装置」は、半導体の光物性を評価するための分析機械。発光デバイスの光り具合を精密に計測しながら、より高性能なデバイス開発をめざします。

中国からの博士研究員として総研で光デバイスの研究を続け、2014年4月、講師に就任した徐学俊先生は「優れた実験成果をあげるには、既存の機器に頼るだけではなく、自分たちでオリジナルのマシンを創造する努力も必要」と言います。写真は、ゲルマニウム試料の透過率を計る機械を自作しているところ。



2013年4月より総研の所長を務める丸泉琢也教授。「『シリコンナノ科学研究センター』と『都市基盤施設の再生工学研究センター』という2つのコア研究に加え、社会のニーズに合致した研究課題を模索しながら、研究活動の幅を広げていきたい。そのためにはマンパワーのさらなる強化を図りたいですね」と熱い思いを語ります。



準クリーンルーム

あらゆる物質の間に働く原子間力を利用する「原子間力顕微鏡」や、原子レベルで結晶をコントロールできる「シリコン系分子線エピタキシー装置」、ゲルマニウムの結晶状態を調べる「X線解析装置」など、数多くの装置が置かれています。



クリーンルーム

半導体の製造にとって、わずかな塵や埃も大敵。クリーンルームには、専用ウェアで頭のとっぺんから足の先までをカバーして、エアシャワーで入念に除塵してからでないと入室できません。

電子デバイスの性能を高める研究に勤む工学研究科電気電子工学専攻修士課程2年の長嶋智典さん。「修士号を取得した後は、大学院での研究経験をばねに、日本のものづくりを活性化できるような仕事をしたいと思います」と力強く語ってくれました。



EB室

特殊な波長の光で室内を満たし、繊細な半導体レジスト材料の感光を防ぐEBルーム。こちらの機械は、ナノメートル(10億分の1m)もの超高精度でパターンを描く最新の「電子線描画装置」です。



電気炉

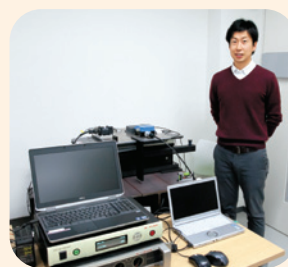
1000℃以上の高温でアニール処理(結晶性回復の処理)を行う「電気炉」。さまざまな機器の操作方法を覚えることも学生にとっては貴重な体験に違いありません。

1F

厳密にセキュリティ管理されたエントランスを抜けると、そこが総研の1階部分。「シリコンナノ科学研究センター」と並ぶ総研のコア研究、「都市基盤施設の再生工学研究センター」の研究室はここにあります。同センターの研究対象は、私たちの生活を支える道路や鉄道、上下水道、港湾、エネルギー、通信など都市基盤施設。経年による劣化や損傷に対する再生技術を構築し、これから100年、安心して暮らしていけるようにするのが目的です。現在、首都高速道路の点検・診断技術の高度化に関する共同研究も進行中。1階には他に、産学協同ミーティングなどに用いられる「多目的室」や、事務室などが置かれています。



エントランス



研究室

こちらは「都市基盤施設の再生工学研究センター」研究室。14年7月に助教となった関屋英彦先生は、首都高速道路の橋梁に発生する振動などについて研究中。

「橋梁の振動を再現するこの『大型高精度加振器』に複数のセンサーを取り付け、どのセンサーが首都高の振動計測に適しているかを調べています」とのこと。地道に、しかし着実に都市の安全を守る研究は進められています。



事務室

総研内の事務処理を一手に引き受ける事務職員の鈴木栄里子さん。「自分のできることをやっているだけ」と謙遜しながら、教師、学生らのさまざまな要望に、爽やかな笑顔で応えます。こちらの写真は、シリコンナノ科学研究センターの澤野憲太郎准教授とのツーショット。澤野准教授は昨年、ゲルマニウムを用いた半導体で世界最高移動度を記録したことを報告し、総研の卓越した研究力を世に示しています。



工学研究科都市工学専攻修士課程2年の葉山瑞樹さんの研究テーマは、大きな地震が起きた際に橋梁がどのような状態を示すかコンピュータで再現すること。「できれば就職後も研究を続けて、いずれは学位(博士号)を取りたい」と将来の夢を明かしてくれました。

2~4F

2階には、先進エネルギーシステムを研究する柏木孝夫教授の研究室の他、「地盤環境評価研究室」などの「重点推進研究室」や、インキュベーション・ラボ「応用表現研究室」などがあります。3階にはセミナー室の他、倉庫などがあり、4階部分は屋上となっています。

応用表現研究室

音響表現や物語表現を探究する山崎芳男特別教授(左)と、廣瀬慎彦特別教授(右)。音響学の権威として知られる山崎教授は、古い音源などのデジタルアーカイブ作りの他、「震災被災地での芸術振興活動にも力を入れています」とのこと。コロムビアミュージックエンタテインメントCEOを務めた廣瀬教授は、「映像表現の中から、感動するシーンばかりをデータベース化し、感動という主観的な感情を科学的に解明したい」と話します。

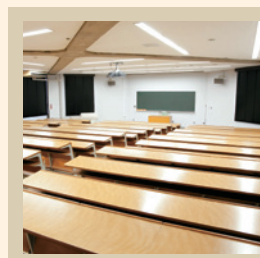


これは応用表現研究室でアーカイブ作りのために使われる「デジタルマルチチャンネルレコーダー」。アナログデータを、デジタルに変換する機械です。



地盤環境評価研究室

「重点研究室」の一つ、「地盤環境評価研究室」(末政直晃教授)。地震時の液状化対策工法の開発を行っています。この他「重点研究室」には、地震被害の相互作用を横断的に解析・評価する「広域型地震防災研究室」(古屋治准教授)と、水素エンジンの燃焼向上を目指す、三原雄司教授の「水素エンジン研究室」があります。



コンファレンスホール

別館2階にある、広さ177.47㎡、約200人超収容可能なコンファレンスホール。総研ではほぼ毎月1回、成果報告会として「総研セミナー」を開催していますが、コンファレンスホールはその会場としても使われています。

学修や研究に打ち込むことも大切ですが、学科や学年を越えた仲間と切磋琢磨する課外活動もまた、人間形成、そして生涯つきあえる良き友を得るための有益な場です。今回は世田谷キャンパスの「空手道部」、横浜キャンパスの「里山倶楽部 Eco-Works」、等々力キャンパスの「児童文化研究会 ぽっけ」の活動をご紹介します。

世田谷
キャンパス

空手道部

文武両道を地でいく都市大きっての硬派な団体



顧問

横山 真一郎(経営システム工学科 教授)

学生責任者

保屋野 大樹(環境情報学科 3年)

部員数

19名(男子部員15名、女子部員4名)

主な活動

- 4月 新入生歓迎会
- 5月 東日本大学空手道選手権大会
- 6月 関東学生空手道選手権大会
- 7月 昇級・昇段審査
- 8月 全国空手道選手権大会
- 9月 夏合宿(海外)
- 10月 関東大学空手道選手権大会
- 11月 全日本大学空手道選手権大会
- 12月 昇級・昇段審査、納会
- 3月 春合宿(国内)

全国大会で2連覇中! ロシア大会でも圧巻の勝利

都市大には全国レベルで活躍するクラブやサークルも珍しくありません。なかでも最近破竹の勢いを見せているのが、世田谷キャンパスの「空手道部」です。2012年度は関東大学空手道選手権大会の団体戦を勝ち抜き、部として40年ぶりとなる全日本大会出場を達成。さらに2013年度、2014年度は、所属流派である国際松濤館連盟主催の全国空手道選手権大会の団体戦で連続優勝を果たしました。こうした実績はもちろん大学からも高く評価されています。

しかも2014年度は海外でも大活躍でした。日露青年交流事業プロジェクトの一環としてロシアにて行われた松濤館空手道選手権全ロシア大会に、日本を代表して3名の部員が選出されたのです。参加した前主将の高波佳祐君(経営システム工学科・4年)は次のように語ります。「一週間の滞在中は現地の学校の日本語クラスで演武したり、ロシア人空手家と交流稽古したりと、連日さまざまなプログラムが用意されており、肝心の大会は帰国の前日(笑)。なかなかハードでしたが、空手道部の魂を存分に見せようと頑張りました」。結果、なんと団体戦で見事に優勝! 個人戦でも西村信八君(情報メディア学科4年。※取材時不在)、内田大貴君(環境創生学科2年)が優勝、高波君が準優勝という快挙を成し遂げたのです。

こうした華々しい戦績を聞くと、部員は幼い頃からずっと空手を続けている猛者ばかりと思いがちですが、半数は大学に入ってから本格的に空手を始めたというから驚きです。たとえば高波君も、中学校、高校はサッカー部でした。それでもこんなに活躍できるとは、日頃よほど厳しい稽古を行っているのでしょうか…。



普段の練習風景



2012年は大学選手権大会で40年ぶりに全国大会出場を果たしました。



頼れる兄貴と、後輩からの信望が厚い高波佳祐君。「インカレ出場」の夢を公言し、見事達成した有言実行の人です。



先輩、コーチ、師範、監督が満場一致で主将を任命した保屋野大樹君。責任感の強さでは誰にも負けません。



「うちの部の先輩はみんな熱い人ばかり」とクールに語りながら、じつは自分もかなり熱い男である豊田涼馬君。



高校時代に惜しいところでインターハイ出場がなかった内田大貴君。その悔しさを晴らすため、当部に入部。



坪井宏樹君（機械工学科1年）は少林寺や柔道の経験はあるものの、空手は初心者。唯一の男子1年生部員です。



ムードメーカーの役割を担う大野喜也君。初心者ながら、見学したときの部の雰囲気引かれて入部を決意したそう。



武道はおろか、運動系の部活自体が初めてという櫻井健汰君。「それでも何とかなるのがうちの部の良さです!」



2014年度の東日本空手道選手権大会で、女子は見事ベスト16入り。女子主将の松本芳佳さんはその最大功労者です。



防具付き空手の道場にも通っている山田実紅さん（児童学科3年）。保育士を目指すだけに、母性にあふれると評判です。



安部実菜さん（自然科学科1年）はメンバーの妹のような存在。高校の空手部の先輩である松本さんに憧れて入部。

限られた時間のなかで効率の良い稽古を実施

空手道部の普段の稽古日は、火、水、金、土曜日で各2時間ほど。名門と呼ばれる大学の空手道部と比べれば決してハードと言えるものではありません。「勉強もありますし、一人暮らしでアルバイトをしなくてはならない部員も多いため、これ以上練習に時間を割くのは無理。ただその分、密度の濃い稽古となるよう気をつけています」と語るのは主将の保屋野大樹君（環境情報学科3年）。毎回練習のため横浜キャンパスから片道30分かけてバスでやってくる彼の発言だけに、説得力があります。また女子主将を務める松本芳佳さん（自然科学科3年）も次のようにコメント。「コーチ、師範、監督の皆さんも指導していただきますが、練習メニューを考えるのは基本的に学生主導。目標に向かっていま何をすべきか、それを自分たちの頭で考えるのがうちの部の強さの秘密だと思います」。

また礼に始まり礼に終わるという空手道ゆえ、上下関係の厳しさはあるものの、練習を終えればアットホームというのも空手道部の大きな特徴。「高波さんをはじめ厳しくて熱い先輩が多いですが、後輩の面倒見がよく、公私の相談に乗っていただける。僕もそんな存在になりたいと憧れます」（豊田涼馬君・電気電子工学科3年・副主将）。「和気あいあいとしながらも、武道系らしく締めるところはビシッと締めるというのがいい。小・中・高と団体競技をやってきたのでとても新鮮です」（大野喜也君・電気電子工学科3年）。「千葉から通っているため稽古に出るのが辛くなった時期もありましたが、同期や先輩が支えてくれました。この部はタテにもヨコにも繋がりが密なんです」（櫻井健汰君・電気電子工学科3年）。

こうした部員同士の結束は夏合宿でより強くなるとか。2014年度は昨年度に続き、台湾・台北市にある松濤館空手道連盟の道場で行いました。「これが初めての海外という部員も多く、とても有意義で楽しい時間が過ごせました」（保屋野君）。

そんな順風満帆に見える空手道部ですが、唯一の問題は部員不足。現在1年生は男女一名ずつしかおらず、部の更なる発展、飛躍には新たな部員の補充が不可欠なのです。聞けば、入部時には白帯の人でも真面目に稽古に参加すれば、3年次にはたいてい黒帯になるとのこと。この春の新入生勧誘時には、ぜひとも“黒帯の魅力”と部の居心地の良さを強くアピールして入部者を獲得し、常勝の空手道部をより堅固なものにしていってください。応援しています!

夏の合宿は台湾へ遠征。オフには市内観光やビーチバレーでリフレッシュしました。



全国空手道選手権大会で優勝



日露青年交流の一環としてロシアで行われた大会に参加。ここでも強さを発揮しました。

横浜
キャンパス

里山倶楽部 Eco-Works

自然をテーマに活動する横浜キャンパス最古参の団体



顧問

吉崎 真司 (環境創生学科 教授)

学生責任者

金丸 太一 (環境情報学科 3年)

部員数

20名 (男子部員15名、女子部員5名)

主な活動

4月 タケノコ掘り

5月 新入生歓迎会

6月 横浜祭

7月 流しそうめん

8月 夏合宿

9月 焼き芋

10月 世田谷祭

11月 紅葉狩り

12月 キャンドルナイト

1月 冬の一斉間伐

2月 冬合宿

3月 卒業生を送る会

伝統のタケノコ掘りは近隣住民にも大好評

「里山倶楽部Eco-Works」は、横浜キャンパスを拠点に多摩川や都筑区内の公園などで身近な自然活動体験を実践している団体です。環境情報学部が創設された1997年に発足した同キャンパス最古の環境系サークルであり、元々はキャンパス敷地内の保全林の管理と整備を目的に結成されました。

「団体名の前に“里山倶楽部”と付けたのは、昨年の4月から。Eco-Worksだけだと活動内容がいまひとつイメージできず、新入生を勧誘しづらいのでは？」と顧問の吉崎真司教授から提案されましたので、自然の中で何か楽しいことをしている団体だと思われるようなネーミングを心がけました。おかげで登録メンバーは増えてきましたが、自由参加が基本のため、普段の参加率が低いのがちょっと残念(笑)」と語るのは団体責任者の金丸太一君(環境情報学科3年)。

年間イベントのうち、創立以来の伝統行事となっているのが保全林で4月に行うタケノコ掘りです。近隣住民、在学生、大学教職員も多く参加し、毎回大変な賑わい。参加者には採れたての若竹汁も振る舞い、子どもたち向けの竹のクラフト教室も行います。

「歴史はあるものの、近年のEco-Worksの活動はあまり元気がなく、このタケノコ掘りが活動のメインのような感じになっていました。それではいけないと思い、最近になって“里山保全”“農業体験”“生物観察”“工芸伝承”の4つの柱のもと、より幅広い活動を行う団体へと舵を取り直しました。地域や行政と連携した活動も積極的に行っています」(金丸君)。

吉崎教授の研究室と協力し、3年前から横浜市環境創造局主催の「よこはま森の楽校」に参加しているのはその一例。保全林に子どもたちを招待して自然観察会やクラフト教室を開催したり、ウィーンズスクエア横浜で研究発表とワークショップを実施するなど、さまざまな活動を行っています。



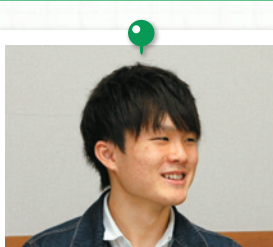
キャンパスで行われた「森の楽校」の様。子どもたちは吉崎教授の特別講義や保全林散策などを楽しみました。



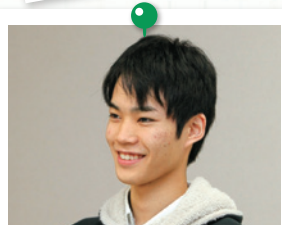
大学の食堂から出る廃油を利用した
キャンドルによるキャンパスイルミネーション



1年の後半からサークル代表を務める金丸太一君。Eco-Works躍進の立て役者です。生物調査や環境コンサルタントの仕事に就くのが夢。



川に行ったら岩や石の下に潜む魚を探さずにいられない、根っから生き物が大好きな藤原峻大君。サークル内での愛称は「都市大のさかなクン」です。



一見都会っ子。でも子どもの頃から家族と田舎を旅行することが多く、野山で遊ぶのが大好きだったという岡本繁明君。将来は田舎暮らしがしたいとか。



竹切り職人と異名を取るほど、保全林の間伐では毎回大活躍する早川琢朗君。このサークルに入って自然の中で汗を流すことの気持ち良さに関わったとか。



保全林で行われる竹の一斉間伐



センター南駅コンコースで「竹の工作教室」を開催。
130名もの親子連れで大盛況でした。

横浜市交通局とコラボし「竹の工作教室」を新たに開催

昨年の9月、横浜市営地下鉄センター南駅コンコースにて、大々的に「竹の工作教室」を行ったのも最近のEco-Worksの大きな成果でしょう。これは、都市大の学生と何かの環境イベントをコラボレーションしたいという横浜市交通局の申し出を受けたもので、20以上の団体が企画をプレゼンしたなか、見事に選ばれた企画です。それだけにメンバー一同、「絶対に成功させてやる」と相当な気合いを入れて準備したそうです。

「保全林で間伐した竹を用意し、竹ぼっくりや竹クラフトの工作教室を行いました。予想を遥かに上回る大盛況で、参加者は130名以上。近隣はもちろん遠方からもほんとうにたくさんの親子連れがいらして、ちょっとアガッてしまいました。怪我や事故がなく無事に終わってホッとしています。吉崎研究室の皆さんにもご協力いただき、感謝しています」(早川琢朗君・環境創生学科1年)。

このほか、公園のボランティア活動を行う団体とも協力し、牛久保公園での公園愛護活動や都筑中央公園でのキノコ観察会など、小規模の団体とは思えないほど精力的にさまざま自然体験活動を行っているEco-Works。その原動力は? と聞くと「自然が好きだから」とメンバーは口を揃えて答えます。

「実家が秩父で、小さな頃から川遊びや昆虫採集が大好き。環境学部に入ったのも自然についてもっと深い知識を得るためです。だからこのサークルの活動には満足。ただ最近は竹を切ってばかりいる気もするので(笑)、もっと魚や昆虫を採りにいきたい」(藤原峻大君・環境マネジメント学科1年)。「環境系のサークルは他にもありますが、身近な自然と触れ合う機会をもっとも多く用意しているのがここ。個人的には一番このキャンパスらしいサークルだと思いますし、入って良かったと思います」(岡本繁明君・環境創生学科1年)。

横浜キャンパスのある都筑区は自然が豊かに残り、子どもが大好きなカブトムシやクワガタのほか、タヌキやイタチのような野生動物も生息します。今後はそれらをアカデミックに研究観測し、成果を学園祭などで近隣の子ども向けにも発表したいというEco-Worksの面々。横浜キャンパス最古の環境系サークルは、少人数ならではのフットワークを生かし、まだまだ発展していきます!



横浜市水道局が実施する水源林間伐ツアーにも参加。



保全林では椎茸の原木栽培も実施。写真は収穫風景です。

等々力
キャンパス

児童文化研究会 ぽっけ

子どもと絵本の出会いをお手伝い



顧問

根津 明子 (児童学科 准教授)

学生責任者

山口 弘通 (児童学科 3年)

部員数

14名 (男子部員3名、女子部員11名)

主な活動

4月 新入生歓迎会／おはなし会
5月 おはなし会
6月 おはなし会
7月 おはなし会
8月 おはなし会
9月 おはなし会
10月 幼稚園バザーでのおはなし会
11月 等々力祭でのおはなし会
12月 おはなし会／懇親会
1月 おはなし会
2月 おはなし会
3月 おはなし会／卒業生を送る会

キャンパス内で行う“おはなし会”が毎回大好評

『児童文化研究会 ぽっけ』は、保育士や幼稚園教諭を目指す児童学科の学生たちで構成されています。東京都市大学等々力キャンパスの前身である東横学園女子短期大学時代に創立され、今年で活動7年目。子どもたちへの絵本の読み聞かせを活動の軸とし、普段は等々力キャンパス内にある子育て支援センター『ぴっぴ』を訪れる親子を対象に、同じキャンパス内にある茶室にて月に二回ほど“おはなし会”を行っています。

「おはなし会は土曜日の午後1時15分から30分ほど。一冊ずつ読み手を交代しながら絵本を読み、読み手以外が周りで子どもたちをフォローするというスタイルで、毎回4～5冊紹介しています」と、代表の山口弘通君 (児童学科3年)。

おはなし会はいつも大盛況で、子どもたちはもちろん、共に参加されるご父母からも好評をいただいているとか。小さな子どもを絵本に集中させるにはいろいろと苦労がありそうですが、これについては次のように語ってくれました。「子どもの目を見ながら読む、絵本が揺れないようにする、ページをめくるときは手が画面を遮らないように気をつける、などなどのコツを、練習で先輩たちから伝授されます。実はこれらは授業でも教わるのですが、ぽっけに入っていればそれよりも先に学べ、より実践的な技術が身に付きます」(山岸愛美さん・同3年)。「絵本は1～3歳児だけのときと、もう少し大きな子どもがいるときの2パターンを用意し、会場の雰囲気に合わせてどちらにするか決めています」(鈴木崇経君・同2年)。「絵本だけだとどうしても子どもは飽きますから、合間に“手遊び歌”を挟むのもうちのおはなし会の特徴」(平井里沙さん・同2年)。

取材中、その手遊び歌を披露してもらいましたが、さすが皆さん場数を踏んでいるだけあって、ぴったり息が合い、子どもたちの心をギュッと掴むこと間違いなしの完成度！なお、ぽっけの創立以来続くおはなし会の功績は大学側にも高く評価され、平成25年度の学生表彰では課外活動奨励賞が授与されました。



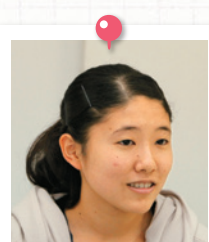
等々力祭での絵本読み聞かせの様式。



絵本の合間には手遊び歌も交え、子どもたちが飽きないように工夫しています。



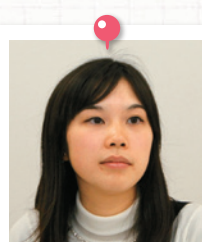
絵本を読み始めた途端、場の空気を一瞬で掴んでしまうという評判の山口弘通君。ぽっけを牽引してきた頼れる代表です。



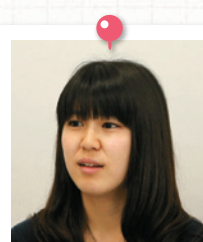
パペット作りも器用にこなす山岸愛美さんは副代表。読み聞かせの上手さから山口君がスカウトして入会。



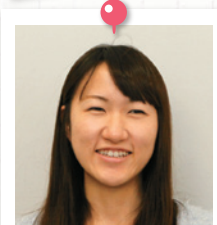
アカベラで鍛えた美声が自慢の鈴木崇経君。イラストも玄人はだして、右下のおはなし会のポスターも彼の作です。



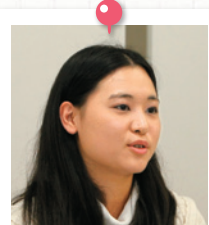
大人っぽさと子どものような純真な心を持ち合わせた平井里沙さん。学生団体連合会の企画部長も担当しています。



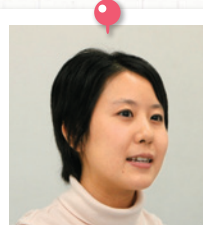
誰に対しても優しい細谷あやかさん。入会した当初、先輩たちの読み聞かせがあまりにも上手くて感動してしまったりとか。



一見クールだけれど実は天然、とメンバーに評されていた大和聡美さん。みんなをなごませるムードメーカーです。



「1年とは思えないほどしっかりしていて頼りになる」と、先輩から評判上々の上野夏鈴さんは、声優顔負けの表現力。



緊張しやすい性格を直したかったのも入会の理由と言う宇佐美果子さん。おかげでかなり積極的な性格になったそう。



鈴木君が描いたおはなし会のポスター。

将来の保育現場で役立つスキルが自然と身に付く!

絵本の読み聞かせや手遊び歌だけでなく、紙芝居、パペットを使った劇、大型絵本、バルーンアートなども、ぽっけの得意分野。これらは学園祭や交流している幼稚園のパザーなどで披露しています。「もう少し大掛かりなパネルシアターなども行いたいのですが、作った道具を保管する場所がなくて…」(山口君)。そう、ぽっけは“愛好会”のため部室がないのです。だから週に一度の練習は空いている教室で昼休みに行き、道具などは実習指導室の棚を借りて保管しています。大学から上部団体への昇格も勧められていますが、他団体と兼部しているメンバーが多いこともあり、なかなか踏み切れないようです。

「逆に言えば、練習が昼休み、おはなし会は土曜日なので、他の団体の活動とかぶらず、兼部しやすいというのもうちの魅力。僕も世田谷キャンパスのアカバラサークルにも所属し、児童学科学生会では会長を任されています」(鈴木君)。

ところで皆さんは、そもそもなぜぽっけに参加したのでしょうか?

「保育園や幼稚園で実習を行う前に、早く子どもたちと触れ合って経験を積んでおきたくて」(上野夏鈴さん・同1年)。「子どもたちが喜んでる姿を見るのが好き。そしてそのためのスキルがここに入れば養えると考えました」(宇佐美果子さん・同1年)。「活動内容を聞いて、将来保育の仕事に就いたときにたくさん引き出しができるんだろうなと思いました」(大和聡美さん・同2年)。

実際ぽっけに入ると絵本の読み聞かせ技術はどんどん向上するようです。「授業で大勢の前で絵本を読まされることがあるのですが、人前で何かをするのは苦手だったのに、堂々とできるようになりました」(細谷あやかさん・同2年)。「実習先で手遊び歌を交えて絵本の読み聞かせをしたら、先生方にとっても感心されました。おかげで実習の間、たくさん絵本を読む羽目に(笑)」(山岸さん)。

会としての今後の豊富を尋ねると、「今は学内でのおはなし会が主ですが、今後は外部でも積極的に行いたい」と山口君。すでに昨年の学園祭を見学に来られた障害児施設の先生から、出張おはなし会の依頼をいただいているそうです。

子どもたちと触れ合うことが大好きな優しい学生が集うぽっけ。小さな愛好会ですが、まぎれもなく等々力キャンパスを代表する名門団体なのです。



もちろん紙芝居も得意です。



等々力祭ではパペットを使って「赤ずきんちゃん」の劇も行いました。パペットは山岸さんのお手製。



充実した活動内容が評価され、大学からさまざまな賞を授与されています。

第85回 世田谷祭

好奇心を、形に。

第85回東京都市大学世田谷祭 実行委員長
工学部 機械工学科 3年

片山 潤三

第85回東京都市大学世田谷祭は例年と開催時期が異なり11月1日・2日の2日間開催されました。昨年度同様、東京都市大学学園祭共通テーマ「みらいを、つくる。」をもとに今年は世田谷祭キャンパステーマ「好奇心を、形に。」を掲げ、準備期間も短くなったなか、実行委員が一丸となって活動してまいりました。

今年の世田谷祭は1日目に雨天となり、放送会主催の「DJ Festival2014」や中夜祭の「ToshiLive!」等のメインステージ企画を屋内にて行いました。しかしながら、多くのお客様にご来場頂くことができました。また、ノーベル物理学賞の受賞者である小林誠先生をお招きした「小林誠先生による特別講演会〜都市大DE出張授業〜」やインディーズアーティストを招いての「TOSHI ROCK FESTIVAL'14」は、全く違うジャンルから世田谷祭を大いに盛り上げました。今年からの新しい企画として「都市大ホビーショー」や「都市大Town Making」といった自分たち都市大生や、ご来場いただいたお客様の好奇心を形にする企画も大変ご好評をいただきました。

また、怪我などにつながる事故やトラブルもなく安全に運営でき、近隣にお住まいの方々のご理解とご協力のおかげで世田谷祭は大成を収めました。

今年度の世田谷祭では開催時期などの多くの変更点がありましたが、次年度は今回築いたベースをもとに、後輩たちが更に世田谷祭を盛り上げてくれることを期待します。今年度以上の発展を遂げた世田谷祭を楽しみにしててください。

最後になりましたが、第85回東京都市大学世田谷祭を開催するにあたりご尽力を賜りました教職員の皆様、近隣にお住まいの皆様、そして関係団体の方々に厚く御礼申し上げます。



第6回 等々力祭

とどろけ! 広がるソウゾウカ

第6回東京都市大学等々力祭 実行委員長
都市生活学部 都市生活学科 3年

武石 謙

今年で東京都市大学等々力祭も6回目を迎えることとなりました。今年度、私たちは「とどろけ! 広がるソウゾウカ」というテーマを掲げました。等々力キャンパスには都市生活学部と人間科学部の2学部があります。都市生活学部では、文化・経営・居住の3つの視点から都市を「創造」することを学び、人間科学部では、遊びや体験を通して子どもたちの未来を「想像」する力を育てています。この2学部の異なる「ソウゾウ」を生かすことで、お客様方に等々力祭を通して日々の生活の中で何かを考え、ソウゾウを広げていただくきっかけになればと思い、「とどろけ! 広がるソウゾウカ」というテーマに致しました。

等々力祭当日は生憎の天候により、お客様方にご来場いただけるか心配でしたが、沢山の方々にお越しいただき、また、どのお客様も笑顔で楽しんでいたのを見て、こちらも楽しく等々力祭2日間を過ごすことができました。

これまで、等々力祭は11月の下旬に開催しておりましたが、今年度からは11月の中旬に開催することになり、例年よりも準備期間が短くなったことで沢山苦労もありました。しかし、実行委員会のメンバーと、私たちをサポートしてくださった教職員の方々や地域住民の方々をはじめとする、多くの皆様にご協力いただけたことで、第6回等々力祭を無事終了することが出来ました。当団体の活動にご支援・ご鞭撻を賜りましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

次年度以降の等々力祭並びに世田谷祭・横浜祭にも是非お越しください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。



課外活動短評

- 剣道部……池田光聖君が第62回全日本学生剣道選手権大会に出場。昨年、本学剣道部創部初の個人戦でのインカレ出場に続き2年連続の快挙。
- 少林寺拳法部……第51回少林寺拳法関東学生大会の単独段外の部にて、栗城潤也君が3位。
- 空手道部……第34回全国空手道選手権大会に出場し、会長杯一般団体組手の部にて優勝(2連覇)の成績を収めた。
- 硬式野球部……平成26年度東都大学野球春季リーグ戦にて、三觜京君が4部リーグ首位打者を獲得。
- バドミントン部……105大学からなる関東学生秋季リーグにて、女子が5部D組6大学の中で1位となり、4部入れ替え戦へと進むこととなった。
- ワンデリングスキー同好会……第33回長野県知事杯争奪木島平・石井スポーツカップ種目別競技(GS新人戦)にて三浦明君が優勝。

バンドフェスティバル

大盛況！ バンドフェスティバル

平成26年度 文化団体連合会 本部長
工学部 機械システム工学科 3年

森田 航

平成26年10月11日(土)東京都渋谷区LIVE STAGE GUILTYにおいて文化団体連合会主催のバンドフェスティバルが開催されました。

『バンフェス』の愛称で親しまれ、年に一度の大きな行事として定着しつつあるバンドフェスティバルで、当日は昨年を上回る182名の方にご来場頂き、会場内は大盛況でした。

バンドフェスティバルは例年通り、文化団体連合会所属の全6軽音楽団体が参加し、夏休みの合宿、日頃の練習の成果を発揮すると共に、キャンパスもジャンルも異なる各軽音楽団体の交流を深めることで、更なる演奏技術の向上を開催の目的としています。また、この中から学園祭ステージに出場するバンドも決定されます。

今年度は学園祭時期の変更により9月に行われていたライブが中止になったため、例年より時間を延長し、多くのバンドに演奏していただきました。このほかにも開催前に練習時間を設けるなど、万全の態勢で演奏していただけるように内容を変更しました。

さらに今年度はSNSを利用した広報を行ったことにより、多くの方にライブ開催を知っていただいたのではないかと思います。

この伝統のあるバンドフェスティバルを来年、再来年と続けていけるよう、文化団体連合会と音楽団体がより一層協力していきたいです。

大きな事故やトラブルもなく2014年バンドフェスティバルを無事終了できたこと、また協力して頂いた沢山の方々には言葉では言い尽くせない程感謝しております。ありがとうございました。



学生応援企画

朝活応援！ バランス栄養食を100円で

ワンコイン

世田谷、横浜、等々力の全3キャンパスで、「朝活(あさかつ)応援!」をキャッチフレーズに、平日朝8時20分から、在学生を対象とした「100円朝食」が実施されました。この企画は、朝から集中して授業や試験に臨んでもらうべく、栄養バランスの良い朝食をワンコインで提供。朝食の習慣化を促して、脳の活性化や健康面でのサポートを図る目的で行われたものです。

メニューは和・洋食の日替わり定食で、大学と東京都市大学後援会および東京都市大学校友会が補助金を出し、1日あたりの食数限定ながら、お財布にやさしい100円での提供を可能としました。

当初、平成26年7月14日から前期試験が終了する8月6日まで運用されましたが、その間、毎日完売となるほど好評で、学生たちからも「ぜひこれからも続けてほしい」との強い要望があったため後期授業期間中も実施が決定。9月22日から平成27年1月30日まで100円朝食が再び行われました。学生たちの声を聞いてみると、「満足です」「いつもおいしくいただいています」「この企画のおかげで寝坊しなくなった」「素晴らしい企画。学生が朝食の大切さに気づくまでずっとやってほしい」と大歓迎の様子。とくに親元を離れて一人暮らしのため、つつい朝食を抜いてしまいがちな学生には好評で、「売り切れてしまって食べられないこともあるので、提供する数をもっと増やしてほしい」と拡充を求める声も聞かれます。いずれにせよ朝食習慣は良い生活習慣の要石。学生たちの願いに応えて、平成27年度も「100円朝食」は継続が決定しました。東京都市大学後援会では、今後もこのキャンペーンの応援も含め、都市大生の学修・研究・就活意欲の向上に貢献してまいります。



事務局便り

後援会会員の皆様には、日頃より大学行事、課外活動に対して多大なるご理解とご支援を賜っておりますこと厚く御礼申し上げます。平成26年度は伊藤秀樹新会長のもと、新たな取り組み「朝活応援!」として学生に対する朝食支援制度:「100円朝食」を7月から実施継続しており、多くの学生の皆さんに好評を得ております。一方、各キャンパスでは「学生と大学のこんだん会」を通じて学生側から数多くのアイデアが出され、活発な意見交換がありました。学生と大学、そして、後援会の三位一体となったインタラクティブな関係を保ち、結果として大学の中心にある学生生活の支援と向上を実現することができます。

「大学と保護者との連絡会」は今年度も本学会場の他、全国17会場で開催され、2247人のご参加を賜り、昨年同様多くの保護者の皆様方とのコミュニケーションを図ることができました。連絡会では大学の近況説明から、学生のキャリア支援に至るまで多くのトピックがありました。6月には本学学生の対人力や独創性の高さが新聞紙上で掲載されたこともあり、就職への関心の高さはもちろん、多様なグローバルなプログラムが立ち上がってきた東京都市大学における学生の将来像を共有することができたのではないかと考えております。

以前に増して、新しい時代のために貢献する人材を輩出するように学生の教育・指導を行ってまいりますので、今後も引き続き変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。



等々力キャンパス副学生部長
都市生活学部
都市生活学科 准教授
川口 英俊

平成26年度 「大学と保護者との連絡会」実施結果

平成26年度の「大学と保護者との連絡会」は9月6日(土)から始まり、最終日の10月4日(土)東京・横浜地区までの間、全国20会場において開催されました。各会場の出席状況は以下のとおりで、各地区において理事・評議員の方々には運営等にご協力いただきました。

会場別出席世帯数（対象県以外からの出席者を含む）

開催地	開催日	会場名	出席世帯数
札幌	9月13日(土)	札幌全日空ホテル	10
仙台	9月14日(日)	ウェスティンホテル仙台	26
郡山	9月13日(土)	チサンホテル郡山	7
宇都宮	9月13日(土)	チサンホテル宇都宮	22
水戸	9月 7日(日)	三の丸ホテル	41
さいたま	9月13日(土)	ラフレさいたま	35
高崎	9月13日(土)	高崎ワシントンホテルプラザ	15
新潟	9月14日(日)	ホテルオークラ新潟	10
世田谷	10月 4日(土)	東京都市大学 世田谷キャンパス	873
等々力		東京都市大学 等々力キャンパス	154
横浜		東京都市大学 横浜キャンパス	292
甲府	9月13日(土)	アーバンヴィラ古名屋ホテル	9
長野	9月 6日(土)	ホテル国際21	13
金沢	9月 6日(土)	金沢都ホテル	8
沼津	9月14日(日)	沼津リバーサイドホテル	38
静岡	9月13日(土)	ホテルアソシア静岡	40
浜松	9月 6日(土)	オークラアクティシティホテル浜松	25
名古屋	9月 7日(日)	ホテルキャッスルプラザ	24
広島	9月 6日(土)	ホテル広島ガーデンパレス	13
福岡	9月 7日(日)	ホテルセントラーザ博多	8
合 計			1,663

都道府県別出席世帯数

都道府県名	出席世帯数	前年度出席世帯数
北海道	12	14
青森	2	2
岩手	0	1
宮城	26	15
秋田	1	3
山形	3	6
福島	13	11
茨城	66	72
栃木	38	46
群馬	19	26
埼玉	104	103
千葉	62	63
東京	368	347
神奈川	695	676
新潟	16	14
富山	5	2
石川	7	7
福井	1	2
山梨	14	20
長野	23	29
岐阜	4	4
静岡	125	141
愛知	19	18
三重	5	6
滋賀	0	0
京都	0	1
大阪	2	5
兵庫	2	1
奈良	0	0
和歌山	0	1
鳥取	0	1
島根	0	0
岡山	1	2
広島	11	9
山口	1	5
徳島	0	0
香川	1	2
愛媛	4	3
高知	0	0
福岡	10	10
佐賀	1	2
長崎	1	0
熊本	0	0
大分	0	1
宮崎	0	0
鹿児島	1	2
沖縄	0	0
合 計	1,663	1,673

TCU-COM
 2015.January

no.
51

発行 東京都市大学後援会

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1 東京都市大学内 後援会事務局
 電話：03(5707)0104 内線：2187 FAX：03(5707)1160
 メールアドレス：kouenkai@tcu.ac.jp